



第106号 2017年4月 リサイクルショップたみとや 目黒区南1-24-14 TEL03-6662-8205

たみとや分会2017春闘

しごとのはなしBAR(バル)

“保育の仕事のホンネ編第一回”

原発と戦争をとめるためにも、僕らはもっと互いの仕事の話をするべきなんじゃないか。日々の忙しい仕事の話。みんな労働者だと。そういうわけで、たみとや分会春闘として”しごとのはなしBAR”をはじめました。“バル”って、スペインの街のたまり場喫茶風。

「保育園落ちた！日本死ね！」で、預ける側も預かる側も問題山積み。エスクとの闘いを踏まえ、プチ労メンバーを含め、”言いたいことありすぎの保育労働者のはなしBAR”。

「子ども子育て新システム」が2015年4月に開始され、さまざまな現場での混乱や子供をとりまく状況の変化や保育労働者の状況もひどくなる一方。3月末の日曜の午後、たみとやでおやつ付き。それぞれの職場で何が起きているのか、自己紹介からスタート。

参加者6人（養護施設、学童保育、家庭的保育、公立保育園、うち1名保育児）



★仕事で一番大変なのは子供たちの将来がみえないってことです★

S：自分は区立直営の保育園の調理職員だが、最近周りの住民から“園の子どもの声がうるさい”という苦情があった。苦肉の策で一クラスずつ園庭であそぶことにしたが、同じ人からまた苦情があった。保育園が足りないと呼ばれる中、周りの人たちの無理解の問題も大きくなっている。どう考えていくのか。

K：品川区などはもっと大きな規模で塀も高くしている。区のお金の問題もあるのでは。

N：一昨年に計画され近隣の強い反対で開園が一年伸びた大岡山小近くの保育園は、企業経営の認可保育所だが、近隣住民は何の説明もなく突然着工されたことで、目黒区に対して怒っている。

O：今作られている保育園は、だいたい全部企業参入だが、市町村が住民説明会を開く義務がなくなったために起きている問題では。民設民営が問題。

K：自分はいろんな仕事をしてきたので“さすらいの仕事人”と自己紹介している。

自分が仕事をしてきたときはあずけるところもない中、幼い子供に水と食料と電話をにおいて仕事に出かけることもあったつらい経験から現在の仕事（ベビーシッター、シルバーの家事援助）をしている。

Y：児童養護施設の保母をしている。対象の子どもは3歳から18歳（特別な場合20歳まで）14人のこどもを1ユニットで4人の職員が2人ずつ交代でみています。昔でいう孤児院だが、現在は孤児というより、親が養育できない状態にあるというのが多く、たとえば虐待とか精神の病とかが多い。

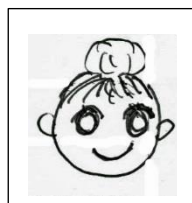
非常勤で雇われ3年たったので今は正規職員。東京都の措置費が財源で予算が決まっており、給料は高くないが予算を取ってくるのが大変そうな園長を見ていると要求の声は上げにくい。

T：高校をやめちゃったりすると園にいられなくなる？優秀で大学に行きたい場合は？

Y：やめてしまうといられない。大学は学費も何もかも自分で稼いでいかなくてはならないのでかなり無理。

また、何か園の中で、職員にも“子供たちに、お金をかけるのはもったいない”という雰囲気があり、へんだなと思う。

仕事で一番大変なのは、子供たちの将来がみえないってことです。



★非正規保育労働者は職場の労働組合には入れない★

O：区立の学童保育に非正規パート。育休中で4月に復帰予定。

児童館をすべて潰すためにまず学童を民営化して小学校のなかに移そうとする攻撃がある。すでに実施している区があるが、校庭解放のこども、学童の子どももすべて一緒にしてしまうとまるでプールの監視員のようにけがしないかみているだけになってしまう。しかも安全はまもれない。そこで学童以外の子どもがけがをしたら誰が責任をとるのかなどまったく責任の所在はあいまい。学校側も反対している。

非常勤にも有給（病休やこどもの病休、育休）があるなど区職労学童分会の闘いの蓄積はあるが、一方で非常勤（週5日6時間・残業するな）は組合に入れない、嘱託（週4日8時間）は正規（週5日8時間）と同じ仕事をしているのに給与が半分などいろんな雇い方での分断もある。

N：保育園で各自使ったおむつを持ち帰るのはどうしてなんだろう？おむつを捨てる予算の問題？

O：予算もあるけど預けっぱなしはだめだよというお母さんへの示唆があるのかも。

K：一週間に一度シーツとか全部持って帰って洗濯してくるのもとっても大変だよな。

★保育園には入れない「子ども子育て新システム」★

T：わかんないこととして新システムで認定時間ってどんなかんじなのか？

O：（認定証を見せて、）これを取得することと保育園に入れることはまた、別。

審査はどんどん細かく厳しくなっている。一日7時間しか働いていないお母さんは保育園おとされた。私の区では入れなかった人は2000人。本とかでしくみを学んでから保活取り組まないと落ちる。

T：延長するとお金がかかるっていうのは本当？

O：うちの場合は9時から16時半まではオッケーで、それより遅くなると一時間500円の延長料金がかかる。

一同：えーっ！！

K：Sちゃんのお迎えもちよっとでも遅くなると延長料金取られるとSちゃんのお母さんにいわれている。そのせいなのね。それにベビーシッターの仕事で各家庭にいくと預ける人の格差をその都度かんじ、格差が広がっているように感じる。

それとベビーシッターの会社の社長から小学生の病児をみたときに“自販機で買ったものをのませるな”、“スマホをみせてそれに子守をさせるな”といわれた。病気のときぐらいいいという親もいるがどう思うか。

★公立保育園だけはつくりたくない民営化づくし「子ども子育て新システム」★

浮き彫りになった新システムの重大な問題点は

- ① 以前は保育園に入れたら一日預かってくれたのに各自にものすごく厳しく時間が決められる。それ以外は自己負担を強いられる。
- ② 反対運動で「市町村の保育義務（児童福祉法 24 条 1 項）」は残り、「認可保育所」は維持されることになったものの、区直営の公立保育園は作らない、
- ③ 一方で、児童福祉法 24 条に 2 項をつくり、認定こども園、家庭的保育事業、小規模保育事業には、「市町村は必要な措置をする」だけになり、
- ④ 監査も認可保育所は 1 年に 1 回結構厳しい監査があるのに認定こども園などは、「定期的かつ計画的に」というだけ。

民営化にむけて、公立と民間とが制度上せめぎあっている状況。

民営化推進では、小池東京都知事は、国家戦略特区会議で公園内設置を規制緩和。

代々木公園に出来る「まちの保育園」は、東大と提携し、保育所型なら株式会社もできる認定こども園。経営者は博報堂出身。ゆるい認定基準と認可保育所並の補助金。その上で、「(園庭もない)小規模保育で2歳までの規制を取り払え」と主張。アベも取り入れる方向。

★子供は社会で協働して育てる、だから保育のプロに託すんだ★

Y：なかなか仕事の話をする場がなかったんだなあと思った。だから話せてよかった。

O：話してみないと出てこない感覚があると思った。今回保育園に子供をあずけるにあたって“母乳で育てたい、牛乳は嫌だ”ということをお伝えすると、保育園の看護師さんは“気持ちよくわかるが仕事を始めるとお母さんの母乳の質は落ち、子供が飲まなくなる。お母さんが母乳を絞る時間をとられ、いらいらして時間がなくなるより、ゆっくり子供に接する時間の方が大切”といわれ、心から説得された。

子供は社会で協働して育てる、だから保育のプロに託すんだ。ということがわかった。それは自分たちも信頼されるプロになるということ。

みんなおやつをむしゃむしゃ食べながらよくしゃべった。知らないことが沢山あったし、腑に落ちないことが解明されていったり、また余計にわからなくなったり、問題の焦点が絞られたり、拡散されたり、忙しい。しかし現場を持つ人たちの話は生き生きと楽しい。

また、5月ころにやろうということになりました。

こどもを預ける人も預かる人も来ませんか？